

その他の環境等を起因物とするその他の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	発生時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	6	14 ～ 15	マンションの周りの植木等の刈り込みを行っていたところ、蜂に刺されて気分が悪くなり病院に運ばれたが、死亡した。	30199	50 ～ 99
1999	6	13 ～ 14	バラストの整理作業を外気温28℃のところ座って行っていたので声をかけたところ、腰が痛いと言うので貨物自動車の窓を開けて、後部座席に寝かせて休養を取らせていたが容体が急変し、救急車で病院に搬送したが死亡した。	30104	30 ～ 49
1999	7	10 ～ 11	畜産場内の1000トン貯水タンク裏側の樹木枝打ち作業中に右目上のまぶたを蜂に刺された。	70101	100 ～ 299
2000	7	16 ～ 17	工場内で小型トラックの荷台に掛ける幌を作製するための型取り作業中に、何らかの虫に左前腕部を刺され、帰宅して就寝中に39度6分位の熱が出たので病院に行ったが死亡した。	10309	10 ～ 29
2000	2	11 ～ 12	虎(3歳、体長163cm)をオリから事務所内に出したときに、頸部を噛まれた。	80409	1 ～ 9
2000	8	11 ～ 12	山林の貯水場で単独で草刈りを行っていた者から携帯電話で事務所に「蜂に刺された。ちょっとおかしいので病院に行きたい」という連絡があったので、その行方を捜したところ、貯水場に向かう途中の林道で移動用の重機の上で意識不明となっていた。	140101	30 ～ 49

2000	7	18 ～ 19	朝8：00より4名で引越し作業を行っていて18：00頃に、ほろ付トラックの荷台でガタッと音がして倒れていたの、救急車で病院へ移送したが、熱中症のため死亡した。	40301	～ 29
2000	9	17 ～ 18	山中での地籍調査を終えて林の中を下山している途中でオオスズメバチに襲われた。右側頭部など全身9箇所を刺された。	170209	～ 299
2002	8	11 ～ 12	チェーンソーで伐採する木の周りの下刈りをしていたところ、ムモンホソアシナガバチの巣があって右耳の後ろを刺され、少し休憩していたが容体が悪くなったので病院に搬送したが死亡した。	60201	1～ 9
2002	8	10 ～ 11	雑木林でパルプやチップの原料となる伐採したナラなどの雑木（長さ2m）を運び出す作業中に、蜂（種類は不明）に刺された。なお、同人は以前にも何度か刺されていた。	60209	1～ 9
2003	4	16 ～ 17	自然動物公園内のライオンセクションにおいて、ライオンを客に見せるためライオンがその場を動かないよう監視作業を行っていたときに、同僚が監視していた別の場所のライオンが興奮して動き出したのでその方向へ移動したところ、道路上に約15頭のライオンが集まっており、それを追い払ったところ同僚がうつ伏せに倒れていた。	140309	～ 99
2003	7	14 ～ 15	同僚と2人で下草刈り作業を行っていたときに、ハチに顔を刺されて間もなく意識を失った。	60209	10 ～ 29
2003	8	8 ～ 9	県有林の下草刈り作業の準備のため、刈り払い機のアイドリングを行っていたときクロスズメバチに頸部を刺された。	60209	1～ 9
2003	8	6 ～ 7	ミーティングのため会社1階の打合室に集合し、そこで社長より各作業員の現場先の割り振り・指示等を聞いていたときに、スズメバチに右耳あたりを刺され倒れた。	30199	10 ～ 29
		7	資材置場で、工事現場へ搬送する資材をトラックに積み込むため、フネ（プ		

2003	8	8	ラスチックのケース) を持ち上げたところ、そばにあった廃材を入れる箱を支える単管パイプ (長さ2.85m、直径4.5cm) にフネが当たり、単管パイプの中からアシナガバチが飛び出してきて刺された。	30199	1～ 9
2003	8	10～ 11	民有林の造林作業において、5名でブラシカッターを使用して下草刈り作業をしていたところ、1名が倒れているのに同僚が気づき救急車で搬送したが、ハチ刺されのため死亡した。	60209	1～ 9
2003	11	10～ 11	公園トイレの雪囲い作業の下見作業中に、ハチに刺された。	30209	50 ～ 99
2004	7	13～ 14	道路の排水溝設置工事において、U字溝敷設用モルタルの練合せ、運搬の作業中、熱中症になった。	30106	10 ～ 29
2004	8	15～ 16	ゴルフ場でグリーンの芝刈りと機械整備を行っている時に、ハチに刺され、後に、アナフィラキシーショック (蜂アレルギー) となった。	170209	10 ～ 29
2004	7	11～ 12	下刈作業中、杉の木の下草むらに営巣していたハチに刺された。	60209	30 ～ 49
2004	6	11～ 12	バスの誘導を行う業務中に、熱中症を発症した。	170201	100 ～ 299
2004	6	9～ 10	竹の伐採作業現場で、切り落とされた竹を竹林内で整理作業中、ハチに刺された。	30301	10 ～ 29
2004	7	16～ 17	朝から、コンクリート打設作業に従事していたところ、午後になって熱中症で倒れた。	30201	30 ～ 49

2004	7	14 ～ 15	道路下法面（のりめん）の崩壊復旧工事現場において、被災者は、午前8時から道路脇に設置した植生基材製造・吹付プラントに原材料を供給する作業を行っていたところ、体調不良を訴え、駐車場に停めていた自社トラック内で休息していたが、その後死亡した。	30199	1～ 9
2004	9	13 ～ 14	山林の下刈作業を行っていたところ、ハチに刺され、救急車で病院に運ばれたが死亡した。	60209	50 ～ 99
2005	8	15 ～ 16	沈砂池設備周辺の清掃業務を被災者が行っていたところ、清掃の過程で周辺にあったスズメバチの巣を刺激し、スズメバチに刺された。	30106	10 ～ 29
2005	7	8 ～ 9	個人宅の庭の手入れ作業中、スズメバチに刺された。	60101	1～ 9
2005	3	11 ～ 12	クマの飼育舎の清掃をしようとしたところ、ツキノワグマに襲われた。	120109	50 ～ 99
2005	7	9 ～ 10	草刈機を使用して除草作業中に、道路脇にあったスズメバチの巣を刺激したため、スズメバチに刺された。	30199	1～ 9
2006	3	10 ～ 11	鶏の育成場でケージの掃除等の作業を行う被災者が、作業中に2階（ケージ設置階）から1階（鶏糞が堆積している階）へ墜落し、鶏糞を吸い込み死亡した。1階フロアから2階フロアまでの高さは2.5メートル。家族や同僚が搜索したところ、うつ伏せの状態での死亡した被災者が発見された。	70101	10 ～ 29
2006	8	9 ～ 10	市有林の間伐作業現場で、伐採作業を行っていた被災者がスズメバチに刺された。	60201	1～ 9
		10	民有林内において、被災者は他の作業員と離れて単独で除間伐のための笹刈		10

2006	10	～ 11	り作業を行っていた。同僚作業員が地面に倒れている被災者を発見し、直ちに病院に搬送したが、死亡が確認された。被災者を発見した当時、その周りには複数の大スズメバチが飛んでいた。	60201	～ 29
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	10 ～ 29
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	10 ～ 29
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	10 ～ 29
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	10 ～ 29
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	10 ～ 29
			事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以		

2006	11	13 ～ 14	下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	50 ～ 99
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	50 ～ 99
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	1～ 9
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	1～ 9
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされた。	30102	1～ 9
2006	11	13 ～ 14	事務所2階の会議室において、17名で毎日の打合せ会議が行われ、所長以下10名が1階事務所に戻り、2階会議室に残って打合せを続行していた7名と遅れて参加した1名の合わせて8名が打合せ中、突然、風速50m毎秒以上の竜巻が発生し、プレハブ建ての事務所が一瞬で吹き飛ばされ、2階会議室に居た8名と1階事務所に居た1名が20mから70m吹き飛ばされ	30102	1～ 9

			た。		
2007	8	14 ～ 15	被災者は、伐採前の現地調査のため入山、作業を開始した。同僚の伐採した木が、スズメバチが巣を作っている木の方向に倒れた。その後、被災者がスズメバチが巣を作っている木を伐採しようと近づいたときに、スズメバチに右耳と左肩の2箇所を刺された。同僚が現場近くの人家に被災者を運び、蘇生施術を施したが死亡した。	60201	1～ 9
2007	6	8 ～ 9	公園駐車場で、自動車の車内で待機中の被災者が、車内で死亡しているのを他の同僚が発見した。	170201	300 ～ 499
2007	9	14 ～ 15	県道の道路工事に伴う交通誘導警備作業において、休憩後被災者が体調不良を訴え、引き続き日陰で休み、同僚が被災者を移動させようとしたところ、被災者は意識が朦朧とし、立ち上がることができなかつたため、病院へ搬送されたが、死亡した。	170201	30 ～ 49
2008	9	10 ～ 11	作業員の3人が事業場に隣接する新店舗建設予定地の購入範囲を確認するために、被災者の案内で同土地内の山林に入り境界を確認しながら歩いていたところ、数匹のスズメ蜂が3人を襲い、集中的に刺された被災者が死亡した。	80204	1～ 9
2008	7	14 ～ 15	河川環境対策工事として実施した堤防の除草作業中、蜂に刺されて意識を失い病院に搬送後、死亡した。	30199	30 ～ 49
2008	8	13 ～ 14	植木の枝切りり作業中、蜂に数箇所を刺された。同僚の男性が患部を冷やすため氷を買って戻ってくると被災者が痙攣状態で倒れていた。	60101	1～ 9
2009	10	14 ～ 15	作業員4人で保育間伐及び伐倒木の木寄せ（整理）作業において、玉切り済みの木を整理していた被災者が、蜂に刺された。被災者は同僚に「蜂に顔を刺された」と言って、薬を置いていたところまで自力で歩き（約40m）、薬を持ったまま意識を失った。その後、搬送された病院で死亡が確認された。なお、刺された原因等、詳細は不明である。	60209	10 ～ 29

2009	11	15 ～ 16	山中において、代表者と被災者の2人で測量中、被災者が蜂（オオスズメバチ）に刺され、下山途中に意識不明となり、病院に運ばれたが同日死亡した。	170209	1～ 9
2010	6	14 ～ 15	被災者を含む7名で水田のあぜ道の草刈り等の作業を各自離れた位置で行っていたところ、近くを通りかかった高校生が水田の中に倒れている被災者を発見し、救急車で病院に搬送したが、約1週間後、肺炎により死亡した。	60101	10 ～ 29
2010	7	13 ～ 14	住宅周辺の樹木の剪定作業中、蜂に刺され、病院に搬送されたが、その後ショックにより死亡したものである。	60101	1～ 9
2010	10	19 ～ 20	被災者が、施設内の倉庫前廊下で倒れて死亡しているのが発見された。	130201	50 ～ 99
2011	8	12 ～ 13	新設する橋の橋台施工の作業場所において、被災者が測量の前段階である草刈り作業中に虫に刺されたため、作業場所に近接した休憩場所まで歩いて休んでいたところ、同僚が意識不明の被災者を発見した。病院に搬送されたが、死亡が確認された。	30105	1～ 9
2012	4	10 ～ 11	事業場であるクマ牧場にて、複数の労働者で牧場内の通路の除雪作業、クマへの餌やり作業等を行っていたところ、運動場から逃げ出したクマ（ヒグマ）に被災者が襲われ死亡した。なお、当該運動場は、コンクリート堀で囲まれ、更に上部には柵（フェンス）が設けられていたが、運動場は雪が溜まった状態（雪山）となっており、クマは当該雪山をよじ登って柵を越え、脱走した。	140309	1～ 9
2012	4	10 ～ 11	事業場であるクマ牧場にて、複数の労働者で牧場内の通路の除雪作業、クマへの餌やり作業等を行っていたところ、運動場から逃げ出したクマ（ヒグマ）に被災者が襲われ死亡した。なお、当該運動場は、コンクリート堀で囲まれ、更に上部には柵（フェンス）が設けられていたが、運動場は雪が溜まった状態（雪山）となっており、クマは当該雪山をよじ登って柵を越え、脱走した。	140309	1～ 9

2012	10	2 ～ 3	低速で走行中、歩行者の男性2名にタクシーを蹴られたため、停車して注意をしたところ、いきなり運転席のドアを開けて殴りかかってきた。車内から引きずり出されて金網に押し付けられ、後頭部を何度も殴打された。	40201	10 ～ 29
2013	9	7 ～ 8	民有林の造林現場において、被災者含む4名で刈払機による下草刈り作業中、被災者は、右腕と手指を蜂（オオスズメバチ）に刺されたことから、すぐに病院に行くため、約200m先の駐車場まで歩いていたところ、途中で意識を失って倒れた。すぐに救急車を要請し、病院に搬送されたが死亡した。	60209	1～ 9
2013	8	9 ～ 10	被災者は、光ファイバケーブル敷設工事作業を、高所作業車を使用して行っていた。突然「蜂に刺された」と言いながら、バケットを自ら操作し降りてきたものの、降車後、ぐったりし発汗状態となり、呂律が回らない状態になったため救急搬送された。	30301	10 ～ 29
2013	8	11 ～ 12	工事区域内において、立木調査を行っていた被災者は、倒木付近にあったスズメバチの巣に気付かず刺激を与えてしまい、全身をスズメバチに刺され、病院に搬送されたが、アレルギー症状により死亡した。	170209	10 ～ 29
2013	7	14 ～ 15	山中において下草刈り作業を行っていた被災者は、作業中背面をスズメバチに刺され、アナフィラキシーショックにより死亡した。	60209	30 ～ 49
2013	7	10 ～ 11	被災者は、ゴルフコース脇の雑木林内に入り、一人で電柱付近に生えていた雑草の草刈り作業（鉈を使用）を行っていたところ、背中を蜂に刺された。その後、少し離れた場所に停めてあった作業用の軽トラックまで自力で移動したが、助手席で倒れているところを同僚に発見され、病院に搬送されたが死亡が確認された。	140301	10 ～ 29
2014	9	11 ～ 12	高圧線鉄塔敷地及び巡視路の除草作業中、被災者は数十匹のオオスズメバチの群れに襲われ、倒れているところを同僚に発見された。	30309	10 ～ 29
		11	住宅敷地内の竹林の伐木作業を行っていたところ、首筋と耳の2カ所を蜂に		100

2014	7	～ 12	刺され、死亡した。	30309	～ 299
2014	4	9 ～ 10	浄水場回りの藪の中に入り、落ち葉を熊手でかき集める作業を行っていたところ、ハブに手甲部分を咬まれ、病院に搬送されたが、心肺停止により死亡した。	11603	1～ 9
2015	7	13 ～ 14	被災者は、除草作業中、蜂に刺されて負傷し、入院中、翌日の午前1時49分に死亡した。	150101	30 ～ 49
2015	1	15 ～ 16	被災者は作業員等5名とともに造林地にて植栽木の枝払い作業を行っていたところ、一部の作業員が熊らしき黒い物体を発見して即座に避難したが、被災者だけ見当たらなかったため、現場付近を捜索したところ、被災者が熊の巣穴付近にてうつ伏せの状態で見つかるのを発見した。同日中に脳挫傷等により死亡確認。	60209	10 ～ 29
2016	8	13 ～ 14	園内サファリゾーンにある日本ゾーンにおいて、被災者が専用の軽自動車内で動物の監視をしていたところ、同ゾーン内に放たれていたツキノワグマ（雄、体長約1.7m、体重約110キロ）に襲われた。被災者は、左脇腹や胸をかまれ、肺損傷出血性ショックで死亡した。	120109	50 ～ 99
2016	7	14 ～ 15	ホテル内プールオープンのため、植木の剪定作業を行っていた施設管理担当の被災者が14時30分頃「蜂に刺された」と言って事務室に塗り薬を借りて現れた。約20分後、再び事務室に現れた被災者は机に手を付き、脂汗を流しながら「気分が悪いから近くの病院へ行ってくる」と言った直後、意識不明瞭となったため、救急車で病院に搬送されたが死亡した。	140101	30 ～ 49
2017	10	16 ～ 17	蜂の巣の駆除を依頼され、被災者一人で巣を探していたところ、蜂（オオスズメバチ）に刺された。	170209	10 ～ 29
2018	10	～	被災者が1人で虎の屋外展示場の清掃のため、屋外展示場に入場して虎に頸部等を咬まれ死亡した。通常は、虎を屋外展示場から屋内飼育場に移動させ、屋外と屋内を仕切る扉を閉めたことを確認してから作業員は屋外展示場	120109	50 ～

		17	に入場する。しかし被災者は、虎が屋外展示場に居るにもかかわらず屋外展示場に入場したものである。		99
2018	9	12 ～ 13	刈払機を用いて草刈作業をしていたところ、後頸部を蜂に刺されアナフィラキシーショックを起こし、後日死亡したものの。	130201	1～ 9
2019	7	10 ～ 12	市から受託した集落道路維持業務において、労働者8名で草刈り及び側溝清掃を行っていたところ、午前頃に左腕を蜂（種類不明）に刺された。その後、塗り薬を塗って作業を続けていたが、右手示指をアシナガバチに刺され、塗り薬を塗ったが、数分後に容体が急変し、死亡した（アナフィラキシーショック）。	60201	10 ～ 29
2020	10	12 ～ 14	のり面の草刈り作業中、ハチに右上腕部を刺されたもの。	30199	1～ 9
2020	6	12 ～ 14	被災者が既存の法面で下刈り作業中に、左手甲を蜂に刺された。被災者は刺された後、法面天端まで移動して様子を見ていたが、ショック状態になり意識を喪失。被災者は、その後病院に搬送されたが、同日中に死亡が確認された。なお、被災者は、蜂に刺された時、1か月前にも刺されていたと同僚に話していたもの。	30199	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html